

ZHEXUN QIU

2 0 2 1

PORTFLIO

CONTENTS

01 WINDOW	ギャラリーとスタジオ設計	P04-P13
02 ICE	家具設計	P14-P21
03 BENCH	家具設計	P22-P31
04 BAMBOO	住宅設計	P32-P43

01 「見る」と「見られる」



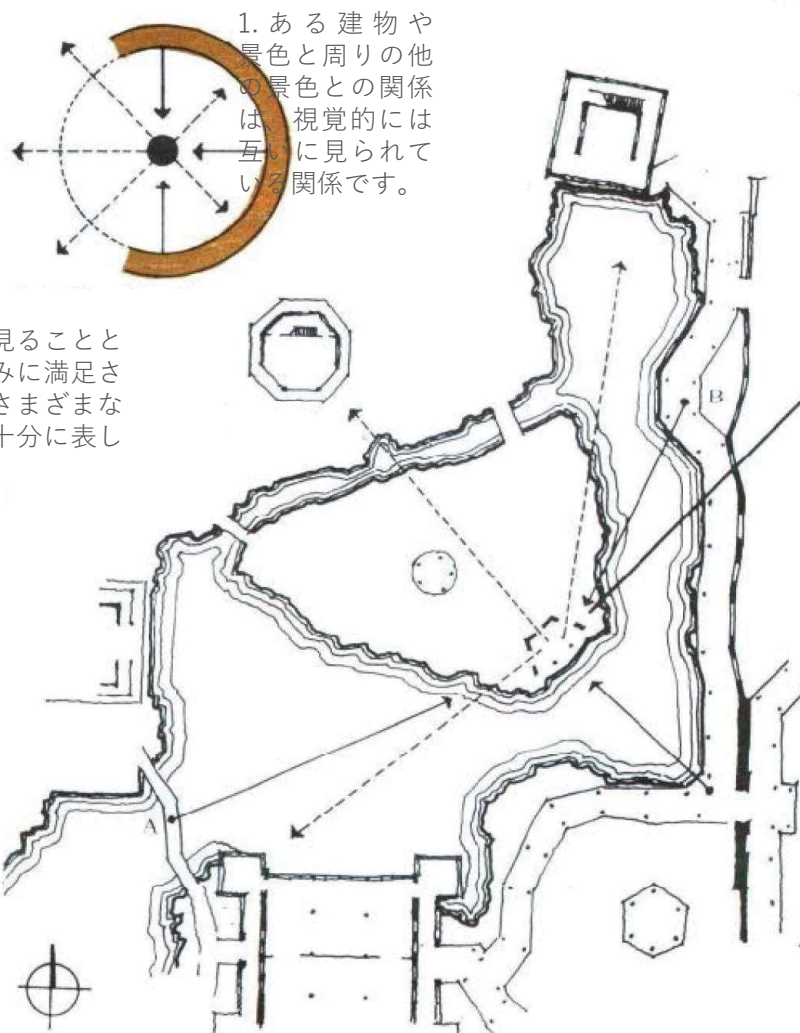
窓はもともと家屋の通風と換気のために作られた装置ですが、中国の古典庭園では窓の意味はこれに限りません。

中国の古典庭園は、「人と自然の調和」と「陰と陽」の生態学のおよび宇宙論的な見解を追求し、自然の山と川をとなり、人と自然環境の調和を重んじます。窓は一つ主要な部分です。ここでのウィンドウとは、ウィンドウだけではなく、さまざまなスペースを繋がるすべての穴であり、スペースとスペースをより融合します。同時に、それはまた、視聴者に完璧な画面を提供します。

このデザインは、中国の古典的な庭園の窓の開口部と「見る」と「見られる」の関係に触発されています。窓が額縁の役割のように空間を展示し、ギャラリーをデザインしました。

見ると見られる

庭園の中の建物あるいは“景”、普通はすべて同時に2つの方面の要求を満たすべきです。一つは見られること、一つは見ること。見られるということは、観賞の対象として存在し、美しい景観効果を持たなければならないということです。見るということは、適切な鑑賞角度を提供して周囲の景色を見に行くことで、良好な展望条件を得ることです。上記の二つの要求は、往々にして建築物や「景」の位置選択の根拠になります。園林建築は、軸線の案内もなく、バランスや対称性、あるいは位置関係にも拘らず、一見すべてが自由に操られているように見えますが、偶然にも関わらず、実際には深く、含蓄があり、このような視覚関係の制約を受けています。



1. ある建物や景色と周りの他の景色との関係は、視覚的には互いに見られている関係です。

2. 一亭としても、見ることと見られることを巧みに満足させることだけが、さまざまな視覚関係の制約を十分に表しています。

3. 見られている角度から言えば、亭の位置でも巧みです。玄関から園に入ると、初めて見ることができる最初の景観の対象となる「点景」の役割を果たしました。

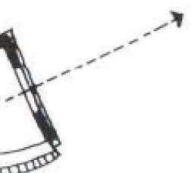


A. 扇面亭西南門洞を通して三十六館の対景効果を見ます。

RESEARCH



4. もちろん、見られた要求から言えば、ある角度から見るとまだ足りないということだけを考慮して、他のいくつかの比較的重要な部位から見た景観効果も考慮しなければなりません。



B. 扇面亭の裏から園の西北へみます。



C. 東北の穴を通して、倒影楼の対景効果を見ます。



上海郵便博物館

蘭心劇場の旧跡



イギリス領事館

外灘美術館

梵華美術館

場所は上海の外灘を選びました。外灘は上海の歴史と現代が融合した場所です。にぎやかなだけでなく、芸術と人文が結合した場所です。外灘沿いに二十数棟のスタイルの異なる歴史建築を擁しています。「東方ウォール街」です。このようなところは作品そのも

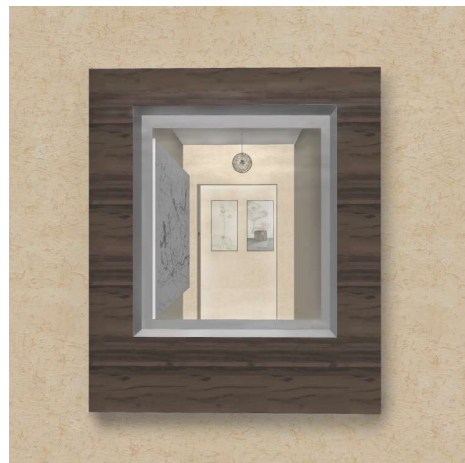
SITE

INSPIRATION

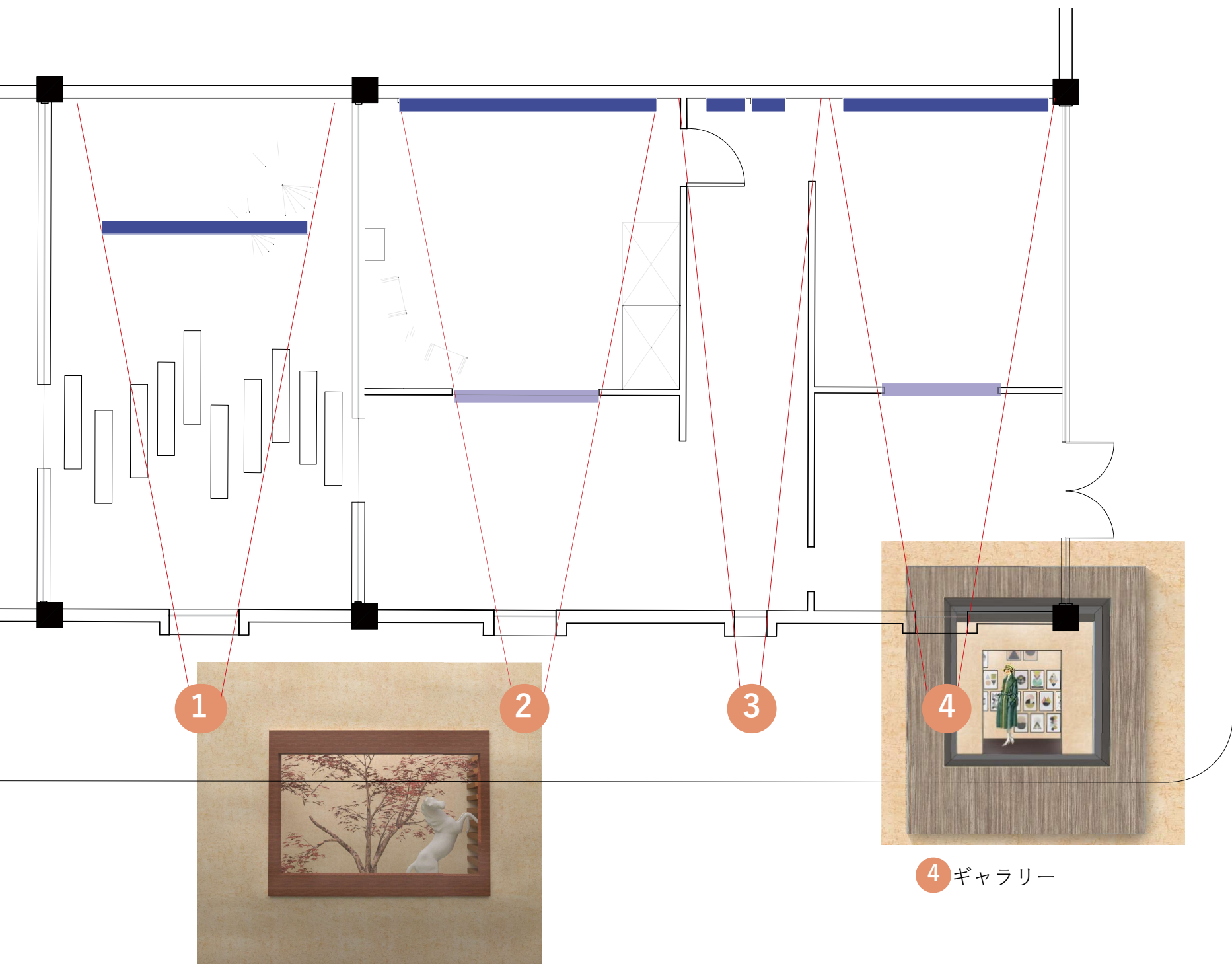




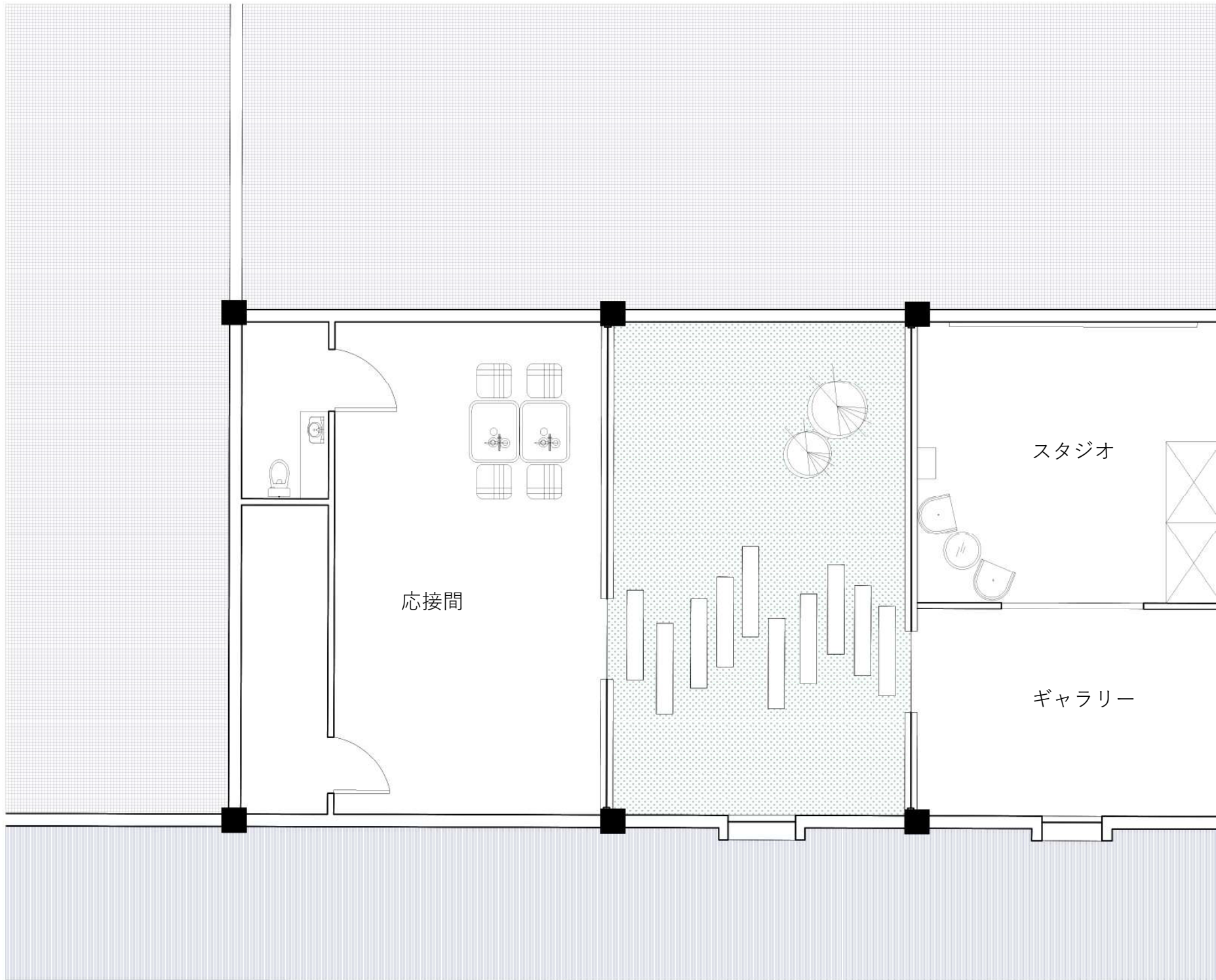
2 スタジオ



3 ギャラリー



1 庭



応接間

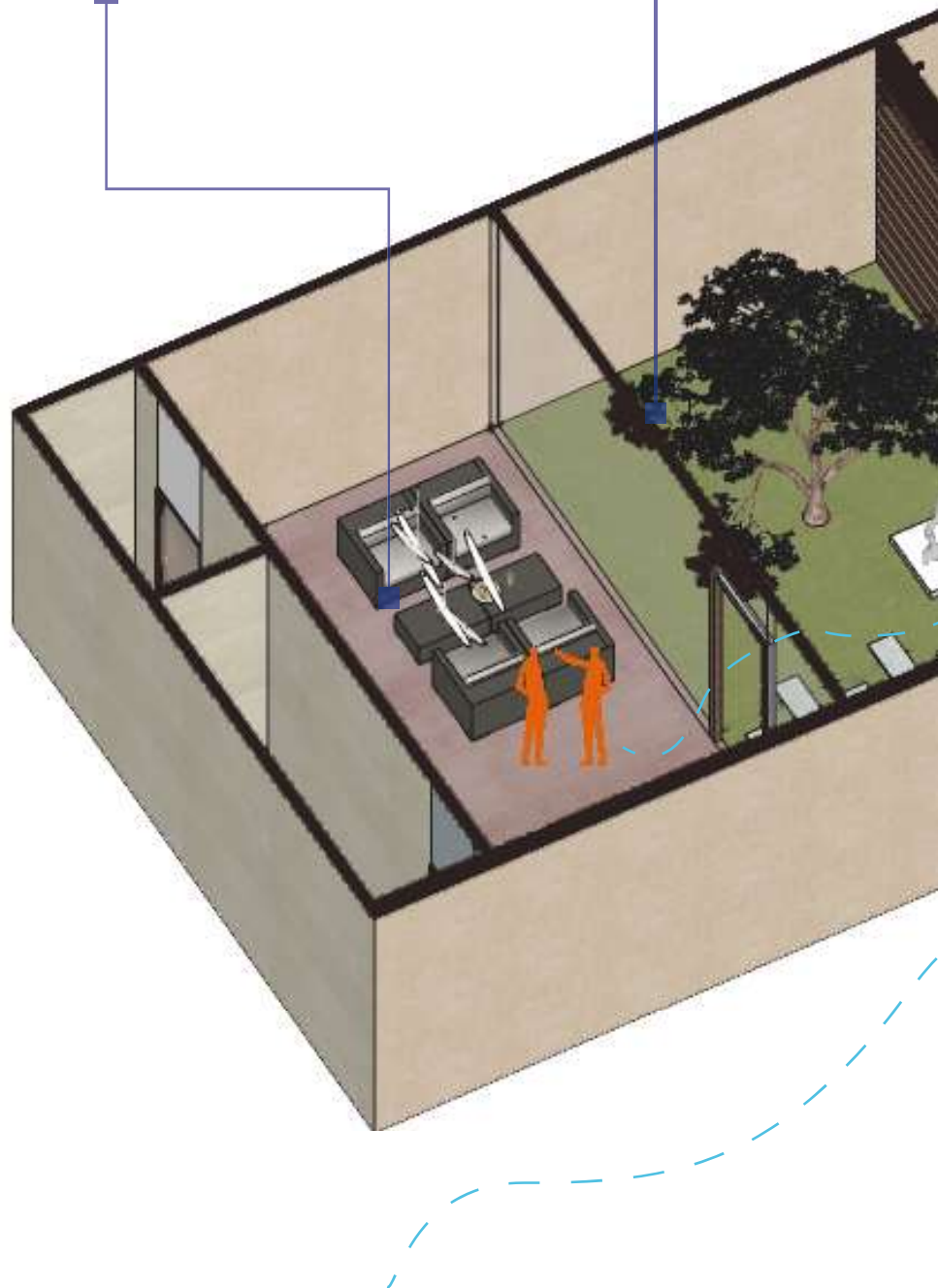
スタジオ

ギャラリー

3. 庭

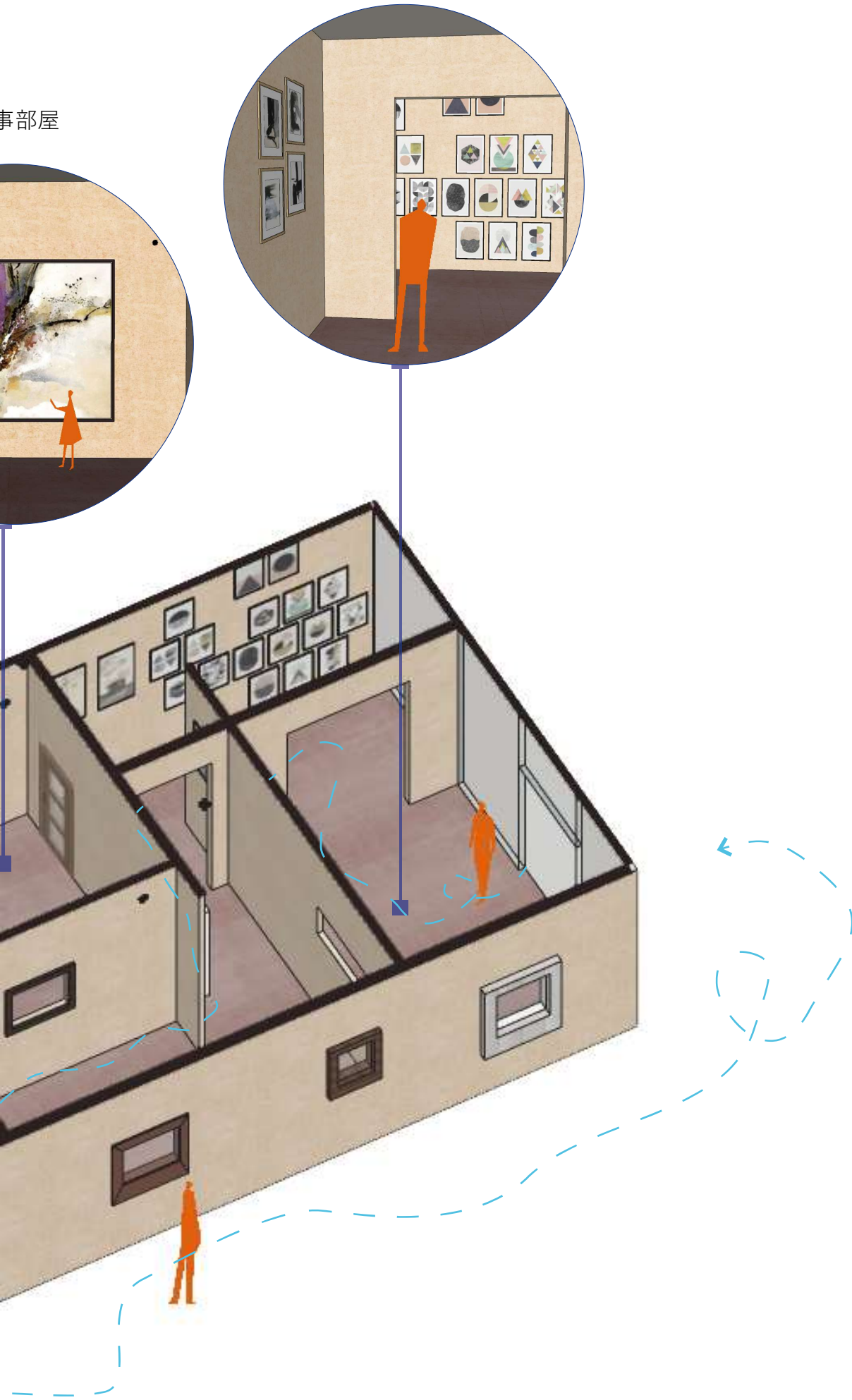


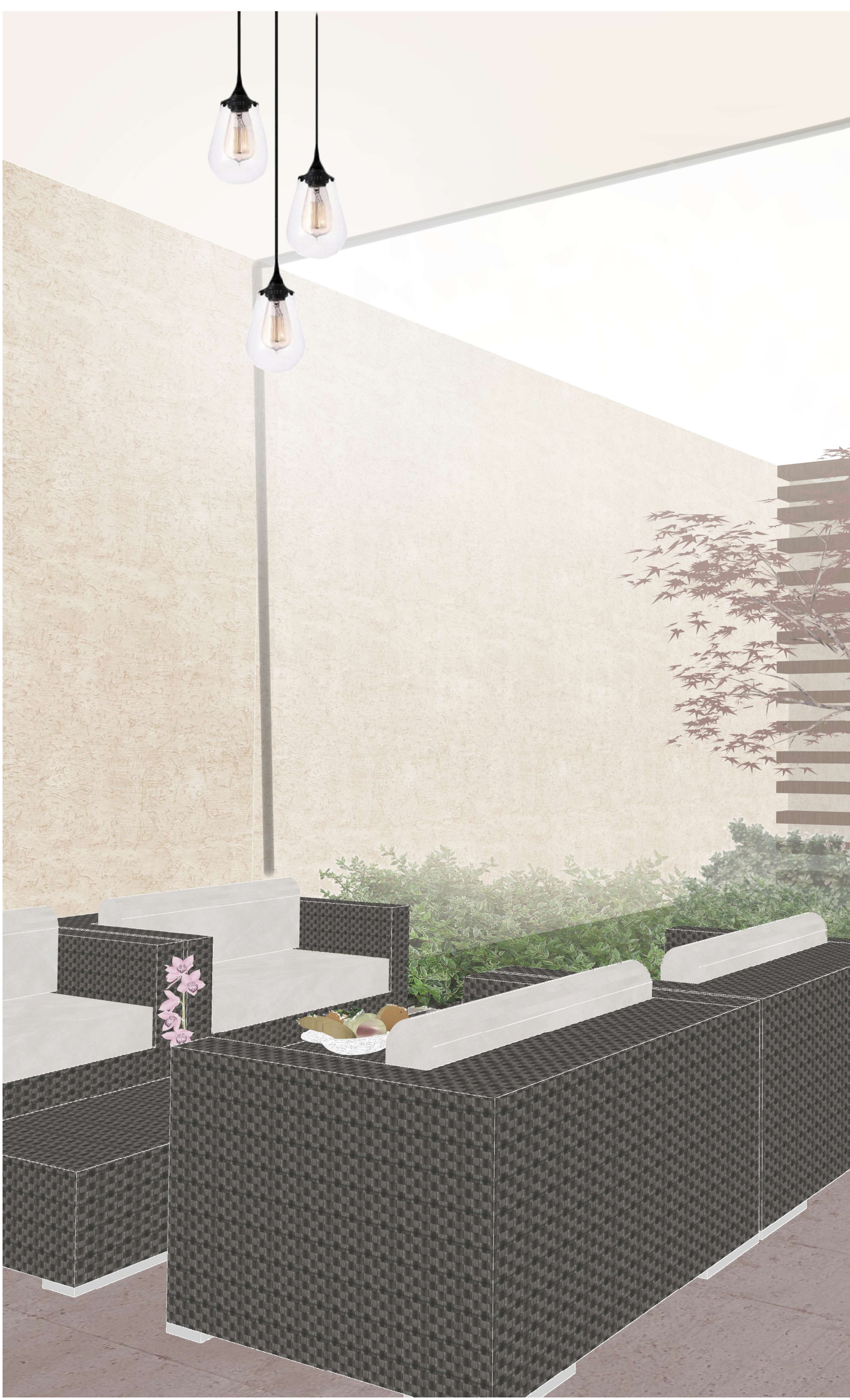
4. 応接室



1. 入口

事務部屋













02 ICE

上海の夏はとても暑いです。その酷暑で、私はいつも自分が溶けそうに
と思います。しかし、上海で一般的なソファは布のソファです。
夏には家に帰ると、涼しくなると思っていたのに、ソファに横になると、
私はもっと暑く感じられます。時々、布のソファを見ると、横にな
りたくなくなります。冬はとても快適なソファですが、夏になると、
気持ちが悪くなります。

冬は家具たちに服を着せて、暖かくて柔らかくなりますが、夏は家具
の布製品を全部外せないで、困ります。

だから、このデザインでは夏に似合う涼しい家具です。

柔らかくて、座った後の包み感のある生地、
丸くして鈍い形。



これらのものは視覚や人体の感知において、
重厚で蒸し暑い感じを与えやすいです。



暖色、
柔らかい表面、重厚感



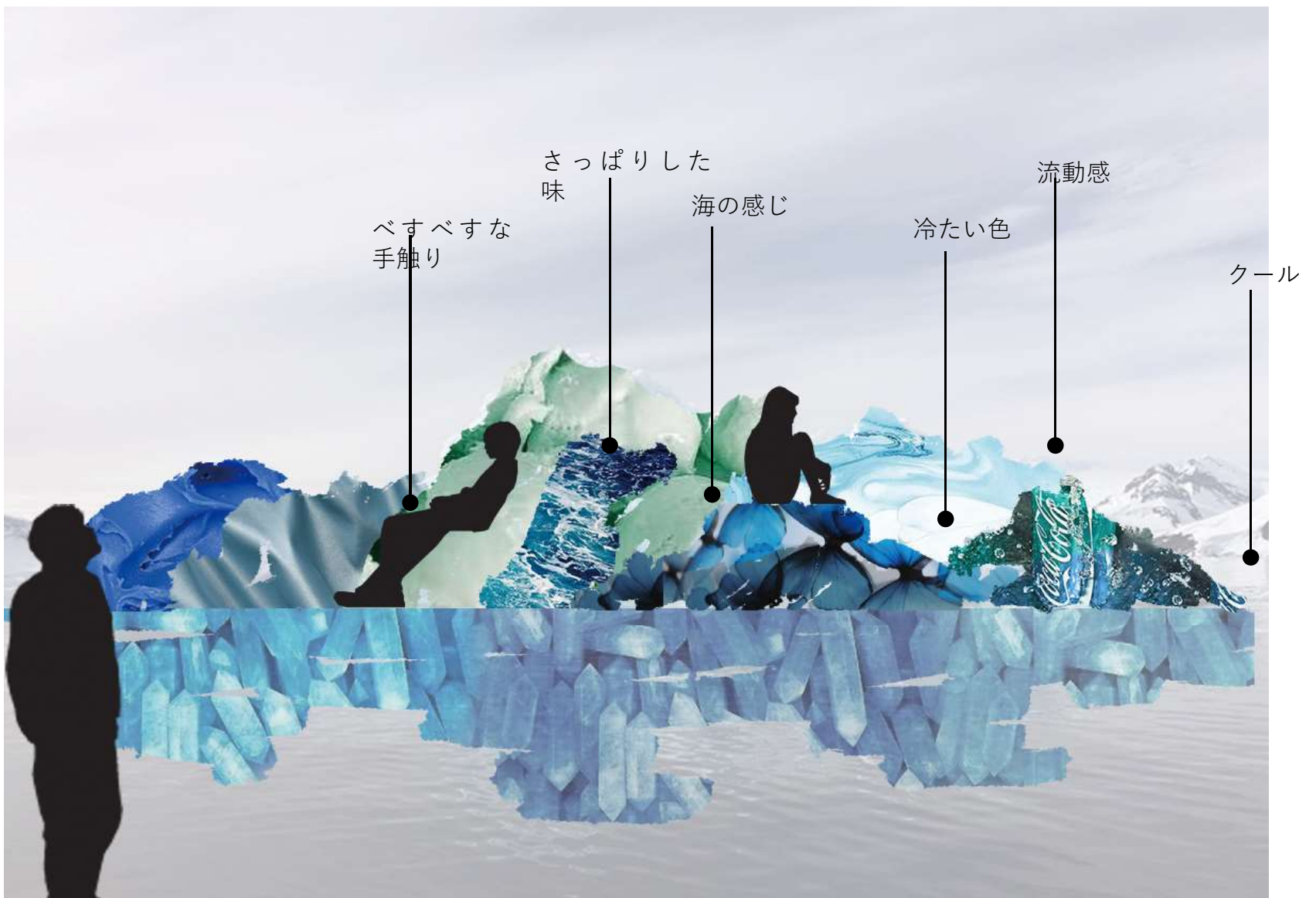
クッション、
落ち感、毛織の表皮

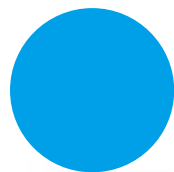


布の材質、綿きがある、
柔らかい、重厚感



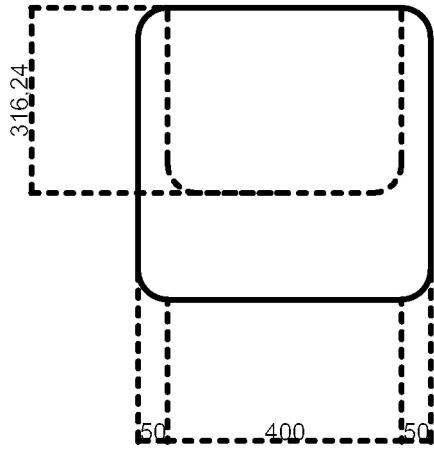
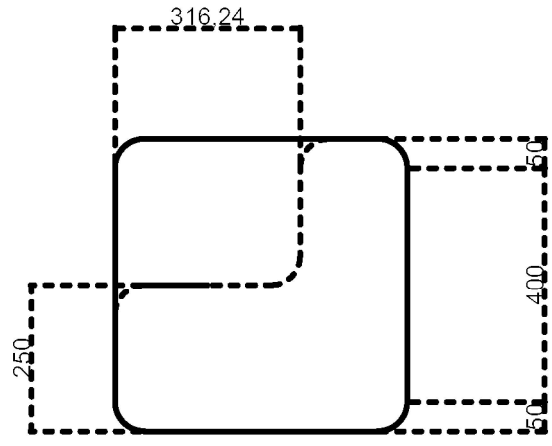
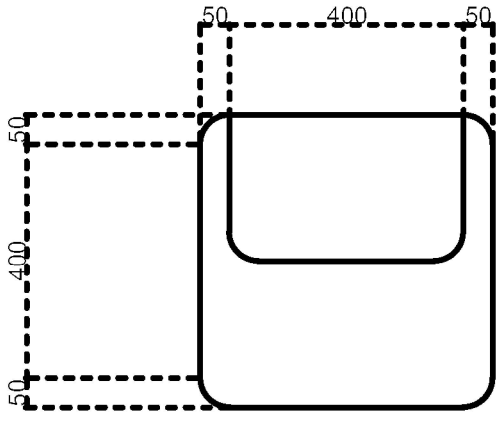
INSPIRATION





本デザインでは、樹脂と色素を採用し、型で型を作った後、色素を加えて涼しい氷の形を作ります。













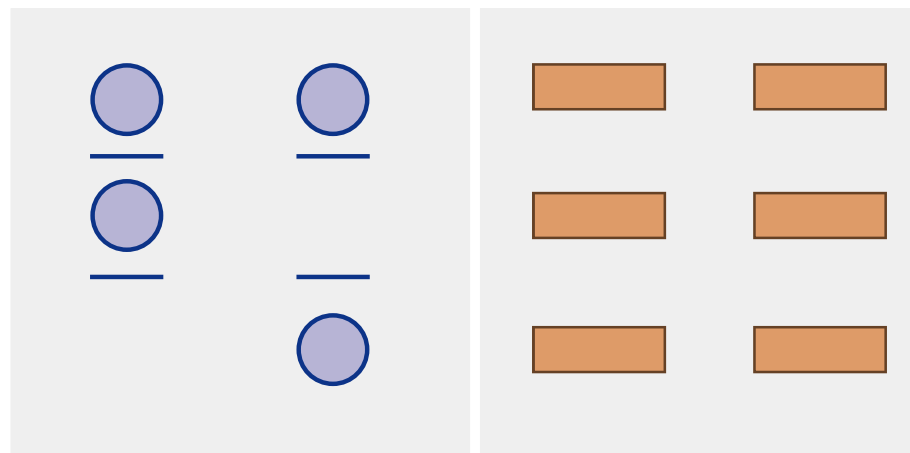
03 BENCH



図書館はもともと静かに読書をする場所でしたが、本を一人で読み終えることもあります。でもその後は色々な気持ちや自分の意見がありますが、周りの人に分かち合えません。

それはとても悲しいことなので、人に感じてもらえるといいです。友人たち一緒に本を読んで、本の内容について話せる図書館があれば、よりいい体験ができると思います。

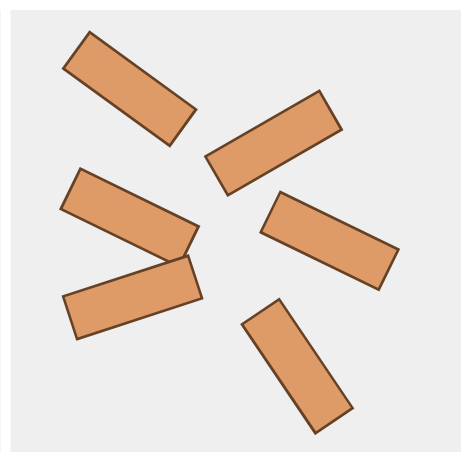
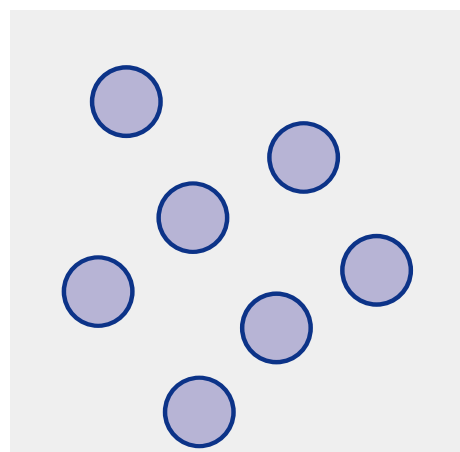
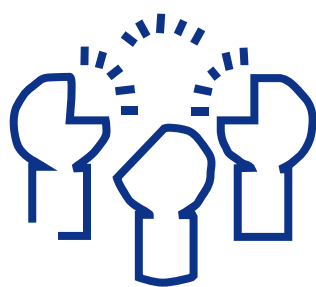
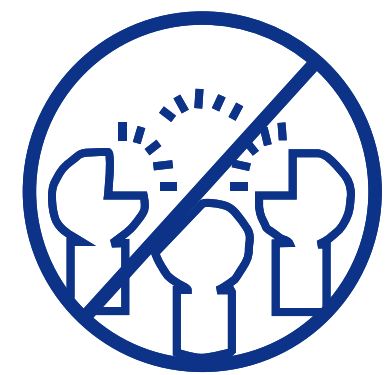
その作品は伝統の図書館による無声図書館と違う有声図書館を設計します。



伝統的な図書館図書館は社交の場ではありません。図書館を利用するときは、資料を調べたり、勉強したり、好きな文学作品を1人で楽しんだりするだけです。図書館では大声での会話は禁止されており、誰かがささやくと失礼と見なされます。人々が選ぶことができるとき、彼らは遠くに座ることも選びます。

しかし、時には本を読むことを実際に共有する必要があり、学習についても議論する必要があります。オーディオライブラリがある場合があります。それは社会的機能を備えた図書館です。

このライブラリでは、同じ趣味を持つ人々が自分の好きな本をお互いに共有し、研究で互いに話し合うことができます。この図書館でさえ、コミュニケーションのために生まれ、見知らぬ人が簡単にコミュニケーションできるスペースを提供しています

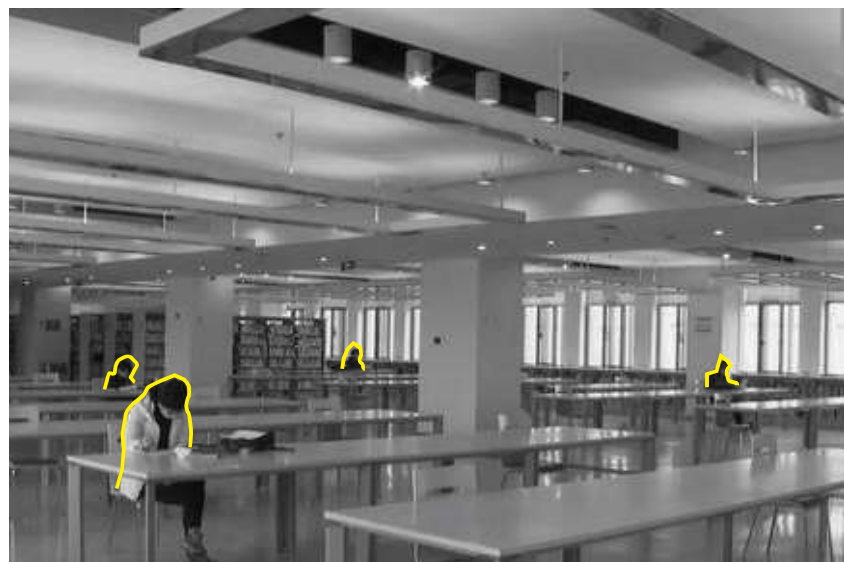


伝統図書館の席

1. 話ができない。
2. 読書に適する。
3. 席の間隔が遠い。
4. 一人で静かに勉強します。

有声図書館討論区

1. 話してもいいです。
2. 討論に適する。
3. 席の間隔はコミュニケーションに適しています。
4. もっとプライベートな空間。



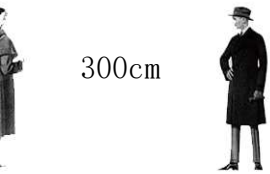


エドワードホール

ビジョンは広く、洞察は深く、理論はまったく新しいものです。

Hall は、文化を3つのレベルに分類します。知覚の度合いに応じて、可視、不可視、技術の3つに分類し、内部構造に従って文化を要素、コレクション、パターンに分割します。

彼は体系的に直感的で実践的な「文化教育図」を説明し、文化の変化を説明し、「文化はコミュニケーションである」という命題を提唱し、「時間言語」と「空間言語」を提唱し、人々が文化から脱するのを助けるために鮮明な説明をしました。束縛、文化的刑務所から脱出します。



300cm

人混みを避ける—— 120 ~ 360cm

これは社交距離または礼儀距離です



120cm

個人的な距離——45 ~ 120m

これは比例感のある人同士の距離であり、直接の物理的な接触は少ないですが、友好的な会話ができ、お互いを親密に感じることができます。



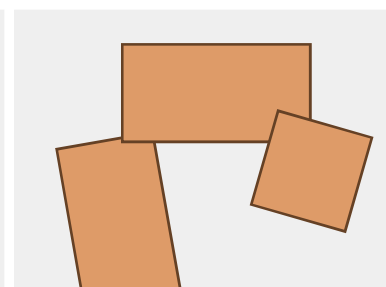
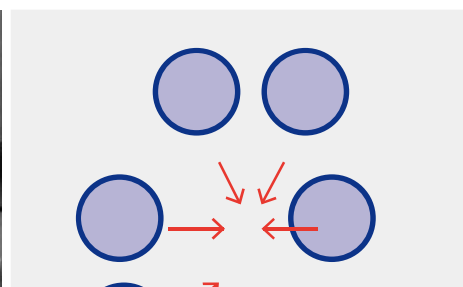
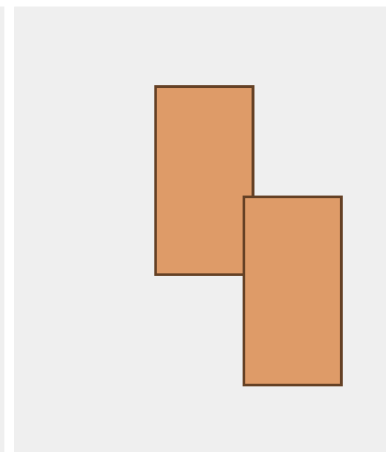
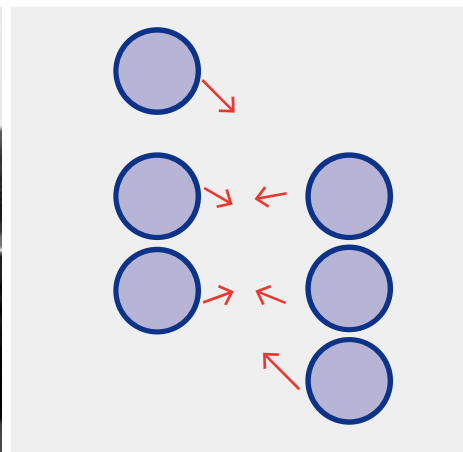
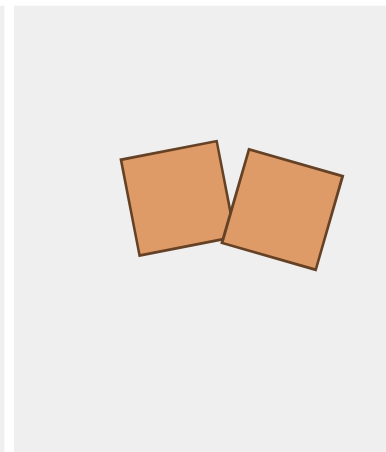
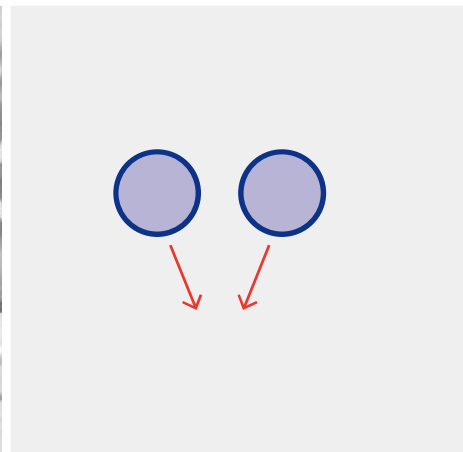
45cm

親密さ——45m 以内

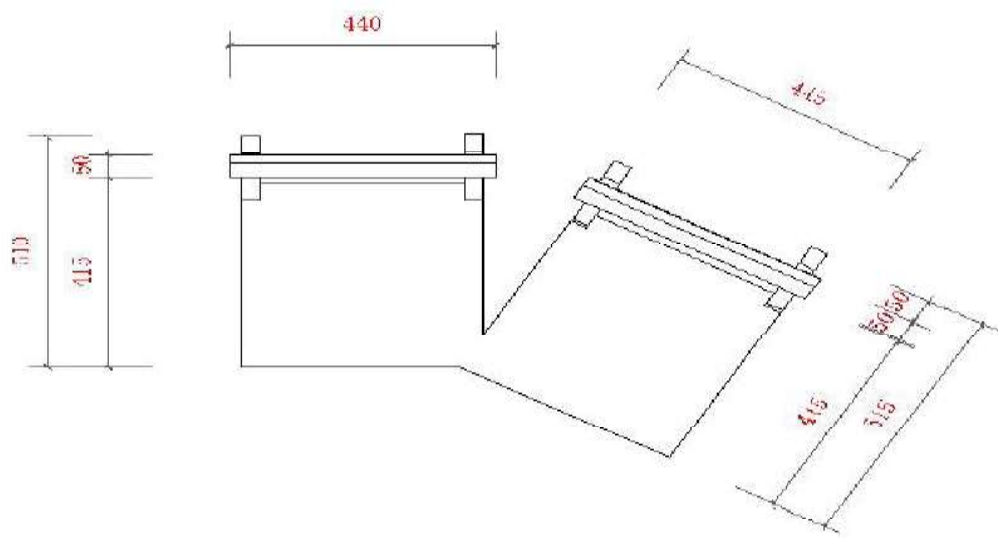
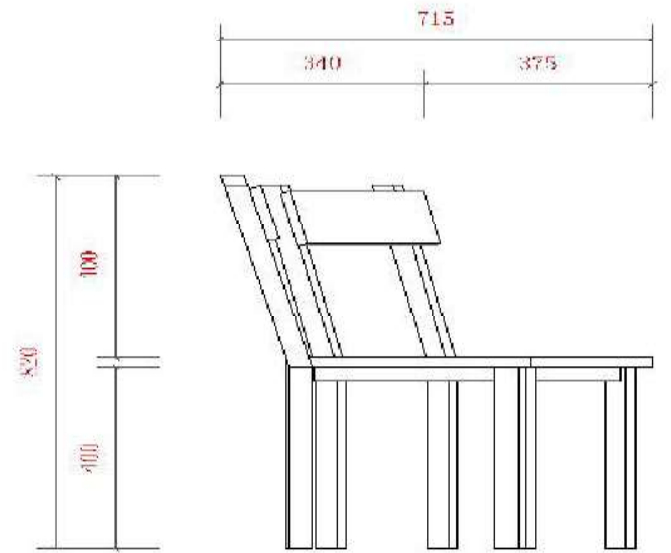
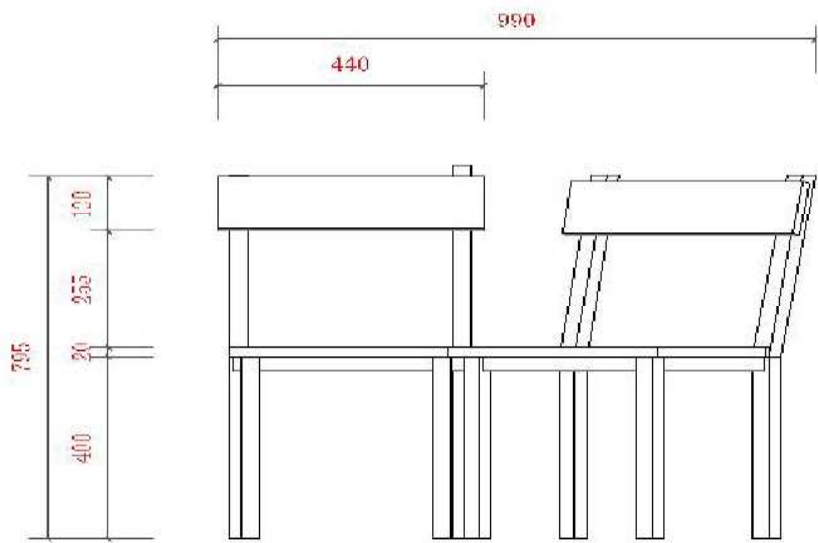
これは人と人の距離が最も近く、人と人の間にのみ存在し、お互いの体温や呼吸を感じることができます。

RESEAR

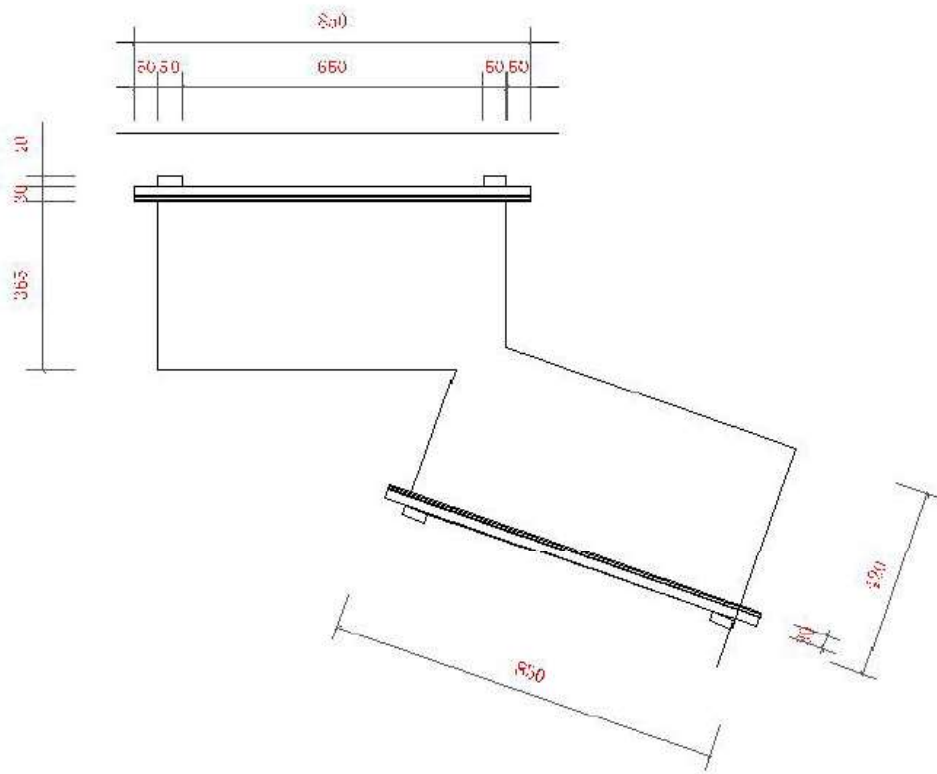
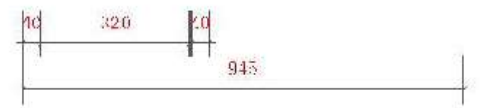
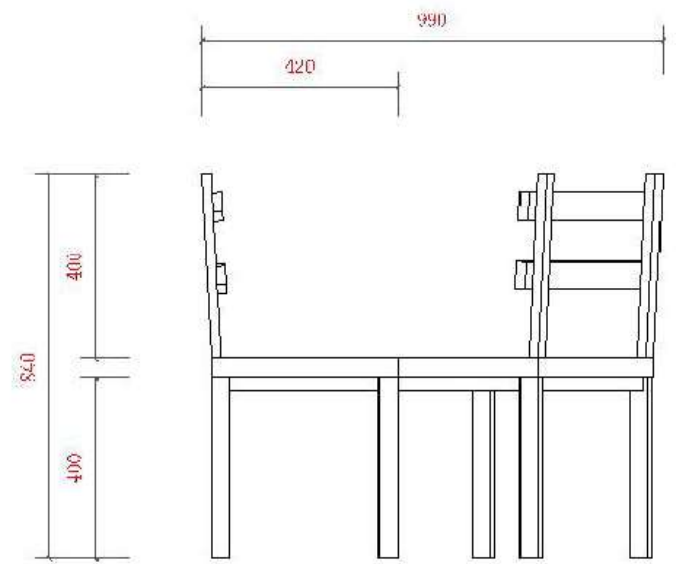
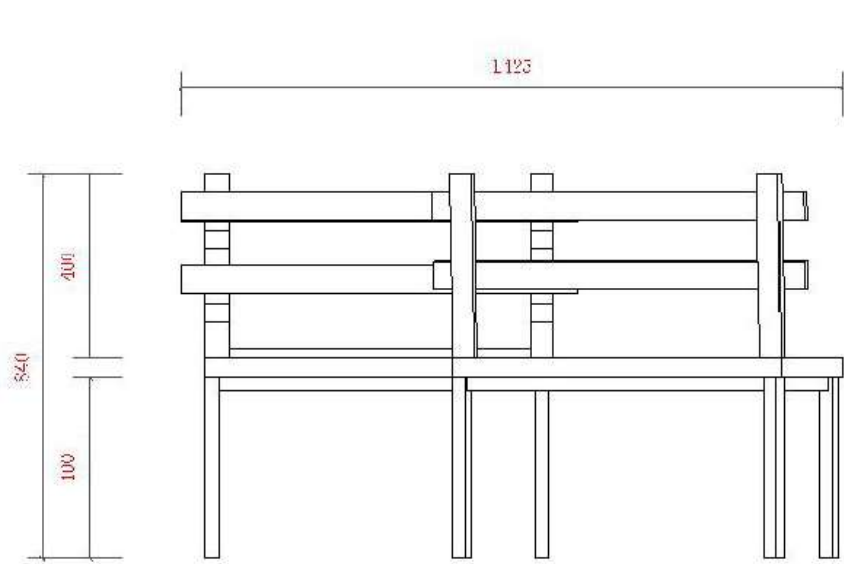
生成過程



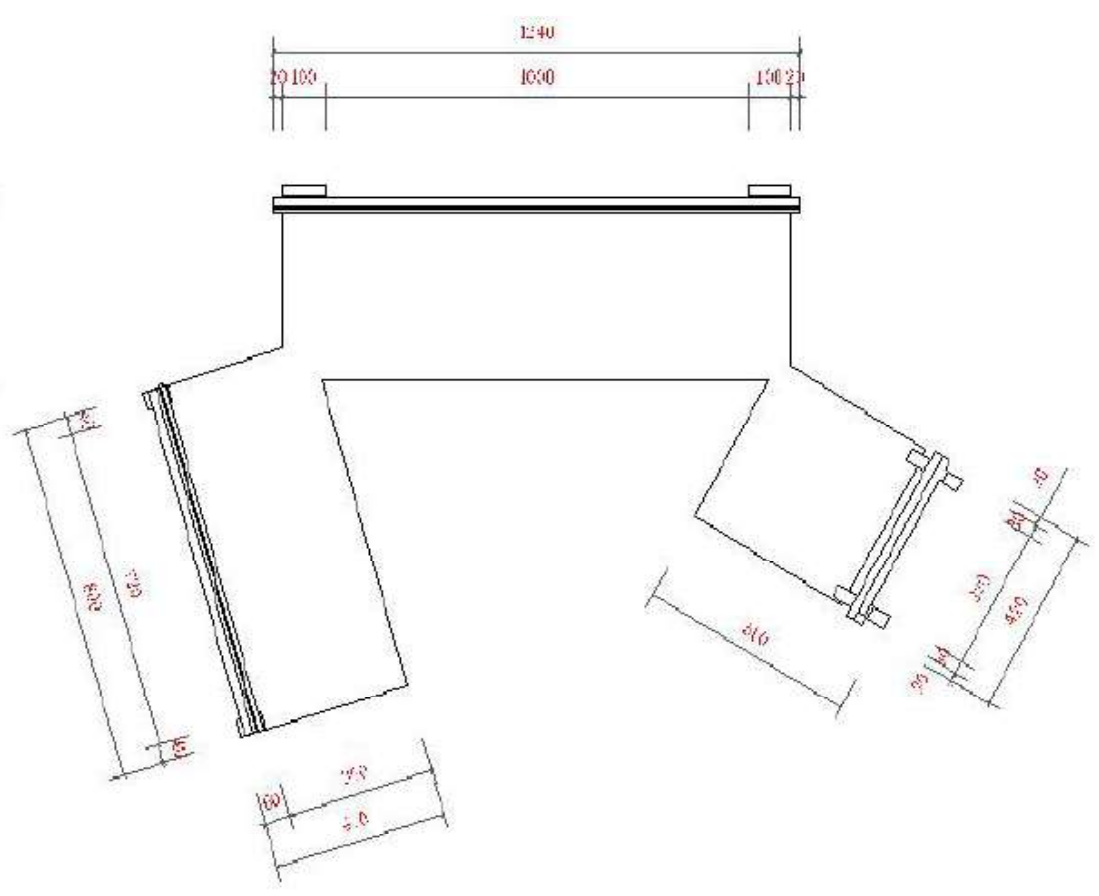
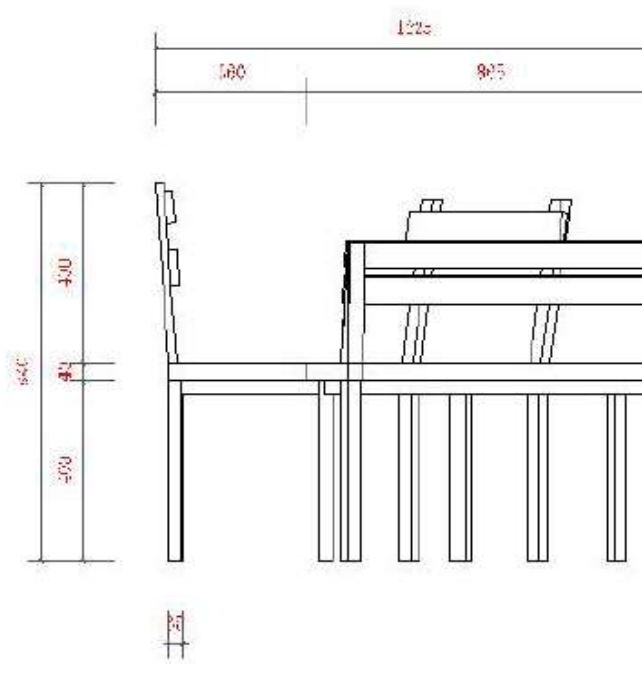
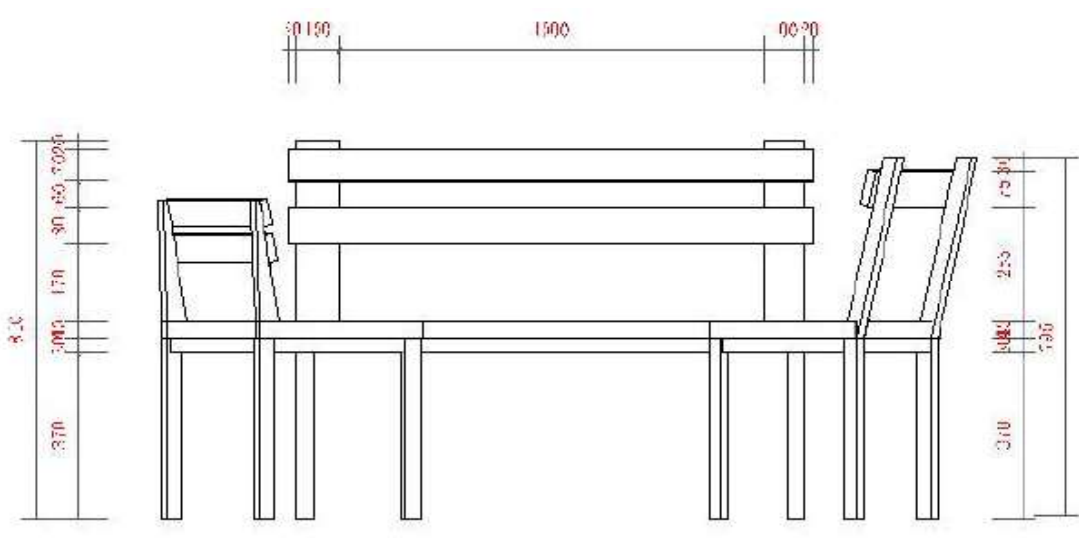












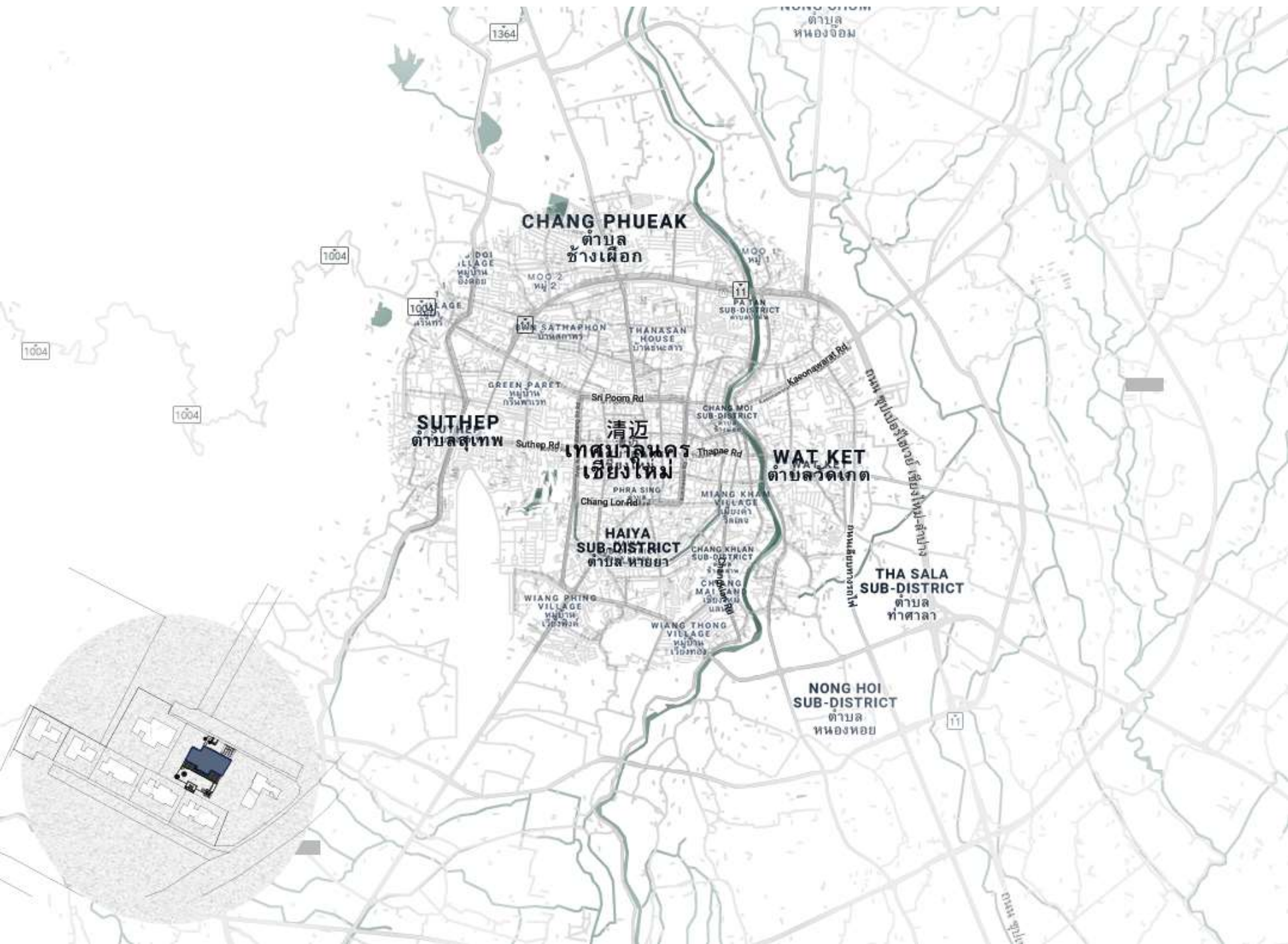


04 BAMBOO

作品の敷地はタイのチェンマイの都市部で、その地域の様々な環境素を分析した結果、最も重要な核となるのは自然感であると感じました。

贅沢なヨーロッパ風とは一線を画し、ある種の禅の領域に焦点を当てた作品です。自然との融合を重んじて、使用される装飾材料も、ほとんどが天然の原料です。暖色系の色を使った全体的な装飾は、人の心を和ませ、暖かさと安らぎと静けさを一つにしてくれます。中庭の部分では、日本の草水をモチーフにしたデザインになっています。

タイ北部に位置し、森林緑化の敷地面積は比較的大きく、山に囲まれ、風光明媚、自然環境も美しい。市内の風景は秀麗で、往来する観光客に素朴でのんびりした感じを与える。気候は冬が暖かく夏が涼しく、タイ北部の政治・経済の中心地であり、経済の中心地であり、リゾート地でもある。



チエンマイの森林は緑豊かで、自然をあげめ尊んでいます。日本風との接点があります。日本は代表的な風土と独特な自然を尊ぶ原始的な自然観があります。

インテリアデザインの中で色は原色に偏っていることが多く、竹、藤、麻などの天然素材の色が素朴な自然のスタイルを形成しています。日本式のデザインスタイルは直接に日本と式の建築の影響を受けて、空間での流れと分離は比較的追究されていて、空間分割は合理的で実用性が高いです。日本式の空間は四角で規則正しい形で主人の静かな心理状態を表しています。



